

## 1. 背景

人口減少が進む社会構造の中で、地域の持続性を確保するには、新たなイノベーション・価値創造の担い手となる人財の育成が最大の課題であり、産学官によって極めて戦略的に推進することが求められている。こうした中、文部科学省・経済産業省は産学協働体制による人財の育成や高等教育のあり方を探ることを目的とした「産学協働人財育成円卓会議(平成23年7月27日)」を開催し、日本社会における成長・質的転換モデルを見出し、社会を牽引するリーダーとなる博士・修士課程レベルのイノベーション「人財の育成」に着目した検討を行っている。

県境を越えた流域都市圏の創造を進める三遠南信地域では、三遠南信地域連携ビジョンに沿って、地域内に立地する16大学学長による『三遠南信大学フォーラム』の設置が準備段階にあり、次代の地域を担う人財の育成について検討協議されているほか、平成24年10月24日には「三遠南信地域大学シンポジウム」を、平成25年2月1日には地域大学をコアメンバーとして、行政、産業界を加えた産学官による「三遠南信地域産学官人財育成円卓会議」を開催し、人財育成・定着化に関する意見交換が行われた。

その結果、三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA、会長：浜松市長)は、三遠南信地域の「人財」の育成・定着化・確保の推進に向けた具体的なアクションを起こすため、三遠南信地域の「人財」育成について、以下の取組方針を公表した。

①SENAは三遠南信地域連携ビジョンの政策の基本方針である持続発展的な産業集積の形成を目指し、人材・労働力の確保や育成、県境を越えた大学連携を推進するため、三遠南信地域の大学、経済界、行政が産学官の連携を図りながら円卓会議等の開催など、人財育成に係る環境整備を引き続き推進する。

②円卓会議は、企業と大学との人財マッチング情報交換会など具体的なアクションプロジェクトを検討し、三遠南信地域における「人財」の育成・定着化・確保を推進する。

③三遠南信地域における「人財」の育成・定着化・確保に資するプロジェクトについて、SENAはその事業推進に向けた協力・支援を行う。

## 2. 三遠南信地域の「人財」の育成・定着化に向けた基本的考え方

わが国が人口減少社会に突入する中、三遠南信地域においても確実に人口減少が進み、それは特に労働力人口（15歳以上64歳以下）で顕著となり、将来的に労働者不足による産業活動への影響や産業集積の崩壊による地域衰退化が懸念される。

このため、地域産業の維持・発展を図っていくためには、「人財」の育成・確保が不可欠であり、**地域経営として人財を育成し、定着・定住させる方策を講じていくことが必要である。**

人財の育成、定着・定住を推進するための基本的考え方は以下のとおりである。

### ①グローカルでイノベーティブな人財の育成・確保の推進

大企業のみならず、中小企業や農業等の一次産業分野においてもグローバル化の進展が予想されるため、**グローバルとローカルの視点（グローカル）**に着目し、三遠南信地域の**多様な地域資源等**を活用したイノベーションを興せる人財を持続的に育成・確保する。

### ②地域資源による産学官連携の人財の育成・確保の仕組みの整備

三遠南信地域の大学による**多様な学問領域**（経済、ビジネス、医療・福祉、工学等）や農業、製造業、商業・サービス業等の**バランスある産業集積**を活かし、**価値創造社会**に対応した**多様な経営力・技術力**を具備し、しかも**三遠南信地域に愛着**を持った人財の育成・確保を、大学や経済界・地方自治体の産学官連携によって推進する。

### ③人財の定着・定住に繋がる地域基盤整備の支援

三遠南信地域は、産学官が県境を越えて連携できる仕組みを持った大きな広域経済圏の形成を目指しているため、多様な生活、文化等の環境を活かしながら、人財の定着・定住に繋がるような地域基盤の整備を支援する。

# 資料5. 三遠南信地域産学官人財育成に向けたアクションプランについて③<sup>11</sup>

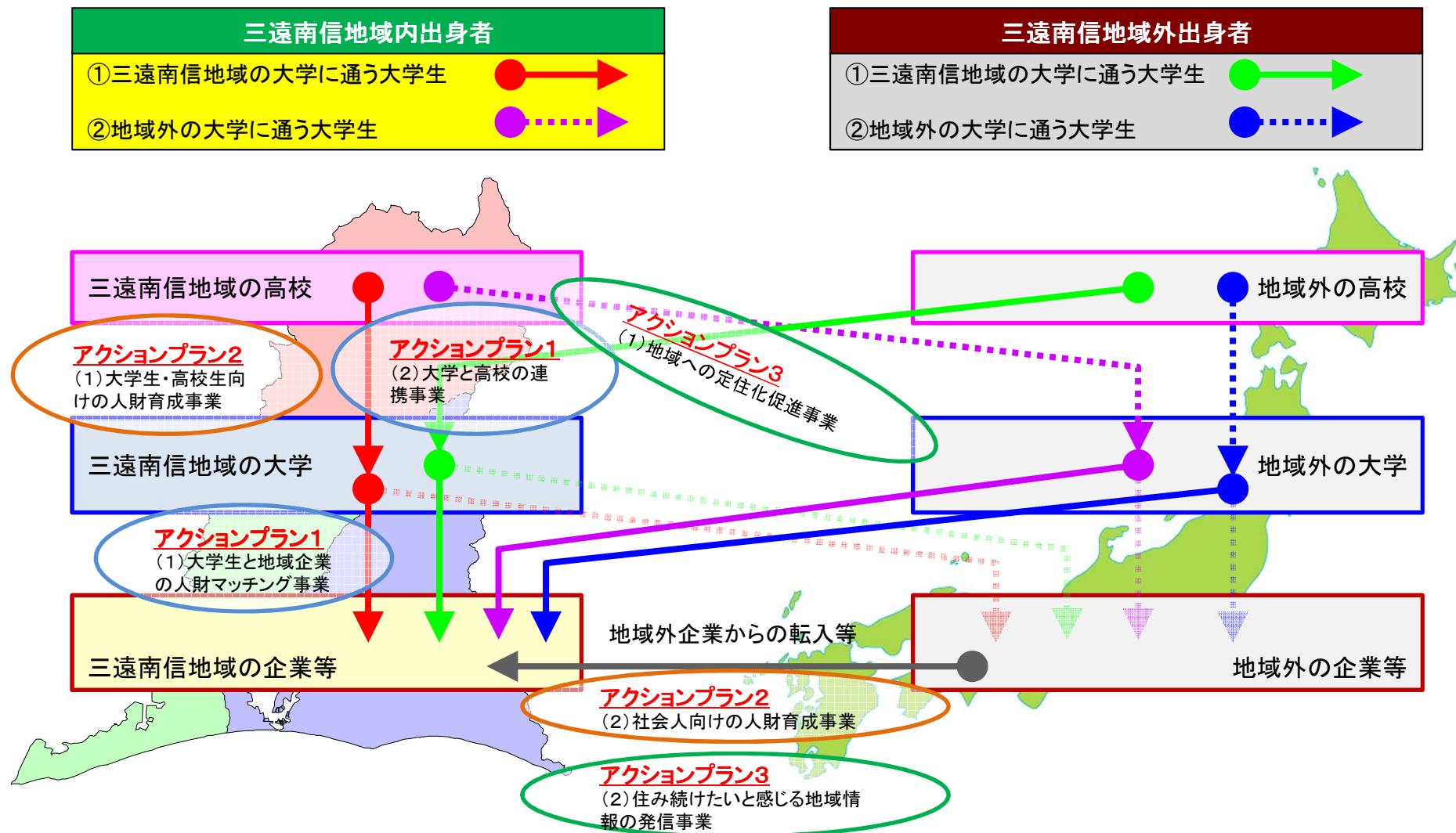
## 3. アクションプランの体系



朱書き下線の事業を候補として次の事業展開を図る

## 資料5. 三遠南信地域産学官人財育成に向けたアクションプランについて③<sup>12</sup>

### 4. アクションプランの体系と人財の関係



# 資料5. 三遠南信地域産学官人財育成に向けたアクションプランについて④

13

## 5. アクションプランの内容

### アクションプラン1. 人財マッチング事業

(1)大学生と地域企業との人財マッチング事業	1)大学生と地域企業の交流促進事業	<p><b>①地域企業経営者との対話・交流機会の創出</b></p> <p>※進め方のイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■企業、経済界のトップが大学生に対して授業・ディスカッションを行う</li> <li>②地域企業が独自に実施している公開講座への大学生の参加</li> <li>③大学生の研究や地域貢献活動についてのプレゼンテーション機会の創出</li> </ul>
	2)地域資源を活用した多様なインターンシップの推進	<p><b>①地域の特徴をとらえたインターンシッププログラムの開発</b></p> <p>例:複数企業連携型インターンシップ 農商工連携・農林水産業インターンシップ 海外インターンシップ</p> <p>※進め方のイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■各大学が実施しているインターンシッププログラム情報の共有</li> <li>■企業受け入れ先と各大学の総合コーディネート</li> <li>②企業が内定を出す前提での実践型採用直結インターンシップの実施</li> <li>③個々の自治体が保有する公的施設等を利用した遠方インターン生の滞在支援</li> <li>④地域企業のインターンシップ導入セミナーの開催</li> </ul>
	3)就職活動支援Webサイトの整備 ((仮)三遠南信地域人財ナビ)	<p>①地域企業情報の発信サイト</p> <p>※進め方のイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■三遠南信地域が誇る特徴的の企業の情報発信サイト運営</li> <li>②地域企業への就職希望エントリーシステム(インターンシップ含む)</li> </ul>
(2)大学と高校の連携事業	1)高校生の地域大学理解の促進	<p><b>①大学講義を高校生に開放し、地域大学への関心や理解を醸成</b></p> <p>※進め方のイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「三遠南信オープンキャンパス」各大学が実施している高校生向け オープンキャンパス等で高校生向け講義の情報共有、web発信</li> </ul>
	2)大学と高校が連携した情報発信事業	<p><b>①大学のキャンパスや授業を紹介する冊子を作成し高校へ普及</b></p>
	3)地域企業の見学会等による企業情報の発信	<p>①大学生・高校生を対象とした企業見学会や説明会を実施し、企業情報を発信</p>

朱書き下線の事業を候補として次の事業展開を図る

# 資料5. 三遠南信地域産学官人財育成に向けたアクションプランについて④

14

## 5. アクションプランの内容

### アクションプラン2. 人財育成事業

(1)大学生・高校生向けの人財育成事業	1)インターンバイトの実施	<p><b>①資格取得などに繋がるアルバイト型インターンシップの実施</b> (建築士、施工管理技士、FP等) ※進め方のイメージ ■企業理解を促進するアルバイト型インターンシッププログラムの企業との共同作成</p>
	2)地域の活性化に繋がる人財育成事業	<p><b>①行政、経済界からの地域課題に対応した大学(ゼミ等)コラボレーション事業の実施</b> ※進め方のイメージ ■地域や経済界(企業)が抱える地域課題を提供頂き、その情報を一元化して各大学へ投げかける ゼミの専門分野とマッチングさせ、PBL(Project-Based Learning 課題解決型学習)の教育プログラムをゼミ等で実施する ②社会人、大学生、高校生が参加する三遠南信ビジネスプランコンテストの実施 ③大学・産業支援機関等による産学官共同事業の推進</p>
	3)大学生のコミュニケーション能力向上プログラムの開発	<p>①大学間の専門分野の単位互換制度の充実化 ②ワークショップ方式による複数校参加型授業の導入</p>
	4)地域企業の能力を活用した人財育成事業の充実	<p>①地域企業が得意とする専門分野について大学との連携による大学講座(冠講座)の実施</p>
(2)社会人向けの人財育成事業	1)地域イノベーション人財育成事業の推進	<p><b>①商工会議所、商工会が実施する研修プログラムの統合化による多様な研修機会の提供</b> ※進め方のイメージ ■東三河広域経済連合会のプロジェクトをベースに、社会人向け研修・セミナーの一部を大学も手がけ、経済界と大学が共同で社会人向け研修・セミナーのプログラムを作成する ②異業種・異分野の企業人・学生等が集まる広域的な交流サロンの実施</p>
	2)企業の新分野進出支援等のための人財育成事業	<p>①社会人博士制度(入学の地域枠等)の充実 ②社会人向けに短期集中型の新分野修学カリキュラムの整備 ③社会人向けの聴講制度の料金低額化</p>
	3)社会人インターンシップ制度の整備	<p>①技術系人財が営業・小売販売、営業系人財が技術系でのインターンシップ ②遠方の商工会議所等との連携による広域エリアでの社会人インターンシップ ③知的財産活用型のインターンシップ</p>

朱書き下線の事業を候補として次の事業展開を図る

# 資料5. 三遠南信地域産学官人財育成に向けたアクションプランについて④<sup>15</sup>

## 5. アクションプランの内容

### アクションプラン3. 三遠南信地域への定住化

(1) 地域への定住化促進事業	1) 地域大学への進学促進事業	<b>①大学、行政、経済界のトップによる高校生に対する授業</b> ※進め方のイメージ ■大学、行政、経済界のトップが高校生に対して理念・思想を語る授業を行う。
	2) 地域へのUターン人財の確保	<b>①高校の卒業生データを活用して、三遠南信地域へのUターン人財の確保</b>
(2) 住み続けたいと感じる地域情報の発信事業	1) 大都市圏など地域外に対する地域情報の発信	<b>①三遠南信地域のライフスタイルの紹介冊子の作成と大都市圏でのPR</b>
	2) 大学生や高校生に対する地域情報の発信	<b>①地域の産業・文化・生活環境等や地域のNPO等に関する公開講座の実施</b> <b>②地域企業の事業活動の紹介等に関する公開講座の実施</b>

朱書き下線の事業を候補として次の事業展開を図る

## 6. 事業の進め方(推進体制)

### (1) 基本的考え方

- ・大学、企業、行政等が既に事業を実施している場合は、原則、当該事業主体が事業を継続するものとする。
- ・三遠南信地域全体として進められるよう、窓口の一本化等の情報の共有化を進める。
- ・新たに行う事業は、事業主体、費用拠出等を含めてSENA、経済界、自治体、大学を含め、産・学・官・民が調整し決定するものとする。

### (2) 事業推進の枠組み

#### ①想定される事業主体について

- ・SENA、三遠南信地域の自治体等、三遠南信地域経済開発協議会、商工会・商工会議所、個別企業、大学、住民団体、研究機関・産業支援機関 等

#### ②事業費について

- ・会費等による徴収
- ・受益者の負担
- ・文部科学省等の国、県の事業採択 等

## 6. 事業の進め方(推進体制イメージ)

